第三国集団研修概要表

JICA LIBRARY
J1138315[5]

1997年4月

国際協力事業団

研修事業部

研一
JR
97-12

第三国集団研修概要表

1997年4月

国際協力事業団

研修事業部

研一
JR
97－12

1138315 (5)

序論

1．「第三国研修」とは

「第三国研修」とは、我が国が開発途上国に移転した技術を、その開発途上国を通じて周辺国に移転・普及させる日本の技術協力の一形態である。開発途上国自身が我が国の技術的・資金的支援を得て、自国の研修実施機関で周辺国から人を受け入れ研修を行うものである。他の援助供与国でも同様の形態の研修は実施されているが「第三国研修」(Third Country Training Programme) という呼称は、我が国独自のものである。

2．研修の形態

第三国研修の研修形態には以下の二つがある。

（1）第三国集団研修・・・我が国が途上国の要請に基づき、研修実施機関を選定しカリキュラムを設定の上、一定の協力年数を定め（通常５年）、毎年１０～１５人程度周辺途上国から研修員を受け入れるもの。

（2）第三国個別研修・・・我が国が毎年途上国の研修実施機関を選定の上、他の途上国から少人数（１カ国１～２人程度）研修員を受け入れるもの。

また、第三国集団研修のプログラムの一部を補完研修として本邦で実施し、当該分野の最新の情報の習得を図る等、研修効果の拡充を図る研修を（年２件程度）あわせて実施している。

3．「第三国研修」の意義

第三国研修の利点は、具体的には以下の５点が考えられる。

（1）先進国の高度な技術をそのまま移転するのではなく、途上国において既に適用・改善された技術の移転を図るため、参加国のニーズにより適合した適正技術の移転が可能となる。

（2）本研修制度は、文化的・言語的、また気候・風土的にも似通った一定の地域の国を対象に、その域内の国を実施国として行われるため、研修効果の上がる環境が整っている。

（3）本邦で研修を実施する場合に比べてコストが安いため（物価、航空賃等）、同じコストでより多くの人々に参加の機会を提供することができる。

（4）カリキュラムの編成、参加者の募集等研修の運営が実施国の主体性、責任のもとに行われるため、実施国の研修実施能力の向上、ひいては、自助努力の促進を期待することができる。

（5）途上国内に蓄積されてきた技術・知識・経験等を相互に交換・共有し、共通する開発問題に取り組むことにより、途上国同士が集団的に自立しようという取り組みを支援することができる。

以上、「第三国研修」の利点を５点掲げたが、開発途上国の研修員を先進国に受け入れる従前の技術研修の重要性には変わりはなく、むしろ両者は相互補完関係にあるとの認識が一般的である。

「第三国研修」が脚光を浴び始めたのは、１９７８年にブエノスアイレスに於いて開催された国連TCDC (Technical Cooperation among Developing Countries = 開発途上国間協力）会議以降であり、同会議で採択された「TCDCの推進と実施のためのブエノスアイレス行動計画」が一つの導火線的役割を果たした。同行動計画は、TCDC推進に関し「各国（開発途上国）レベル」、「地域・地域間レベル」、および「全世界レベル」において、それぞれ採るべき行動として３８項目から成る具体的措置を勧告しているが、この中で特に注目されるのは「全世界レベルの行動」に関する部分の中の「国際機関や先進諸国は、TCDCに貢献できるような開発途上国機関に対し、財政支援等を与えること」および、「TCDCが支援できるように、技術協力に関する政策や手続きを改善すること」等を骨子とする５項目である。これらの措置は、元来TCDCは開発途上国自身の自助努力によって推進されるべきものであるが、財政的・技術的制約等の理由により推進が阻まれるケースが多々あるため、主要先進諸国によるTCDC支援活動が不可欠であるとの認識のもとに勧告されたものである。

4．我が国による「第三国研修」の実施について

我が国による政府ベースの技術協力は、我が国がコロンボ・プランに加盟した１９５４年（昭和２９年）に始まり、当初数年間、研修員受入事業の一部は「日米合同第三国訓練計画」および「国連訓練計画」等に基づいて行われ、来日する研修員の渡航費や滞在費は米国政府ないし国際機関の負担とし、日本側は講師謝金、国内旅行費等を含む研修実施経費を負担するという費用分担方式を採っていた。このように日本の研修員受入事業も、当初はいわゆる「第三国研修」の形態をとっていたものもあったのである。

我が国が援助国の立場をとった第三国研修は、１９７５年３月にタイ国のコラート養蚕研修訓練センターをベースに始められたが、以来第三国研修の有効性が内外に於いて広く認識され、それに対する要請が高まりつつある現状を考慮し、我が国はコロンボ・プラン協議委員会を始めとして国連機関による会議の場を通じ第三国研修の推進に関し積極的な支持を表明し、自らもその拡充に努めてきた。

近年における我が国の第三国研修実施件数の伸びはめざましく、１９９６年度においては２３の実施国との協力の下に対前年度比１０コース増の合計９９件の集団研修コースを実施し、１１７ヶ国から計１，５３８名の研修員（周辺国１，２９６名、実施国２４２名）を受け入れた。これら９９コースの地域的配分は、アジア・太平洋地域６１％、中近東・アフリカ地域１７％、中南米地域２２％であった。

１９８６年度からは第三国個別研修が行われている。これは、主としてJICAベースによるプロジェクトまたは個別専門家のカウンターパートの研修を第三国にて実施する研修

方式であり、１９９６年は新規・継続合わせて３６名の研修員を受け入れた。

なお、１９９７年度は１１２集団コースを２２ヶ国の開発途上国において実施し、合計１、５２７名（前年度より継続コースのみ）の研修員を受け入れる予定である。個別研修については継続９名を含む３６名を実施する計画である。

第三国研修開始以来、１９９６年度（平成８年度）までに受け入れられた研修員は累計で１３、２５５名に達しており、この人数はJICAが日本に受け入れた研修員の累計１１９、６９８名に比べるとその約１１％に相当する。また、１９９７年度のJICAによる本邦研修員受入予定人数（継続受入を除く）は６，１２０名であるが、その約２９％に相当する１，７６６名の研修員（集団１，７４０名、個別２７名）を第三国研修研修員として受け入れることにしており、その役割は急速に拡大している。

目　　次

1．序　　論
2．1997年度第三国集団研修継続（R／D）協力期間中）案件実施計画一覧表 …… 1
3．1997年度第三国集団研修新規／延長予定案件一覧表 …… 13
4．1997年度第三国個別研修実施計画（新規／継続案件） …… 15
5．1997年度継続分第三国集団研修概要表
（アジア地域）
インドネシア　灌漑排水技術 …… 17
農業普及方法 …… 19
稲病害虫発生予察 …… 21
砂防技術 …… 23
建築技術者地震防災セミナー …… 25
家族計画におけるIEC …… 27
電子工学教育 …… 29
シンガポール　電力供給・送配電 …… 31
コンピュータソフトウエア技術 …… 33
港湾管理 …… 35
食品包装 …… 37
ロジスティクスにおける製品保護技術 …… 39
交番システム …… 41
高度情報管理技術(インテリジェント技術) …… 43
メカトロニクス …… 45
上級経営診断II …… 47
環境管理 …… 49
スリ・ランカ　テレビ放送技術 …… 51
情報処理技術 …… 53
タイ　皮膚病学 …… 55
プライマリーヘルスケア …… 57
上級電気通信技術 …… 59
土壌管理技術 …… 61
農村生活向上における女性の役割 …… 63
熱帯における持続的農業生産(インドシナ3国対象) …… 65
持続的高地農業開発 …… 67
持続的灌漑システム管理 …… 69
PFP工業所有権 …… 71
PFP競争政策 …… 73
パキスタン　民間航空輸送 …… 75
建設機械の操作とメインテナンス …… 77
フィリピン　適正技術開発 …… 79
交通計画と管理 …… 81
通信線路施設技術 …… 83
沿岸水産増養殖 …… 85
技術教育教材作成 …… 87
中小企業の労働安全衛生改善 …… 89

マレイシア	情報処理システム管理	91
	プログラム論理制御	93
	プレスプラスティック金型設計	95
	淡水魚養殖	97
	セラミック解析計測化	99
	医療分野バイテク技術セミナー	101
	アセアン家禽病特殊診断	103
	PFP 基準・適合性	105
(大洋州地域)		
パプア・ニューギニア(PNG)	沿岸漁業開発	107
フィジー	電気通信	109
(中南米地域)		
アルゼンティン	国際漁業セミナー	111
	鉄道電化	113
	家畜疾病の診断と研究	115
コスタ・リカ	麻薬犯罪防止	117
	感染症・伝染病対策基礎研究	119
チリ	貝類養殖	121
	植物遺伝資源の管理と利用	123
	鉱物処理・冶金	125
ブラジル	ワクチン品質管理	127
	流域森林管理	129
	老人病学	131
	発電・送電保護システム	133
	水質汚染コントロール	135
	野菜生産	137
	熱帯病	139
ペルー	水産加工	141
	地震工学・防災計画	143
メキシコ	港湾水理	145
	電子制御技術	147
	海運経営・港湾管理講座	149
(中近東地域)		
エジプト	看護教育	151
	溶接技術	153
	地震観測	155
	精米処理技術	157
	建設機械〔パレスチナ対象〕	159
	感染症対策	161
サウディ・アラビア	家庭電気製品の安全性	163
ジョルダン	システムエンジニアリング	165
	電力訓練〔パレスチナ対象〕	167
	医療機材保守〔パレスチナ対象〕	169
トルコ	地下資源開発・評価	171

(アフリカ地域)

コートジボアール	内視鏡	173
ガーナ	黄熱・ポリオ感染実験室診断技術	175
ケニア	応用電気電子工学技術	177
	社会林業推進	179
	水質汚染とその分析技術	181

1997年度第三国集団研修継続(R／D)協力期間中)
案件実施計画一覧表

1997年度　第三国集団研修　継続（R／D協力期間中）案件　実施計画

注1　回数：現行R／D期間中のもので、1996年度実施分を含む。カッコ内は旧R／Dからの通算回数。
注2　割当国：○は周辺国、●は実施国を示す。
注3　研修期間：＊は未定を意味する。

［アジア地域］

実施国	回数	コース名（実施機関）	定員 周辺国	定員 実施国	定員 合計	研修期間 日本日数 協力年度	割当国（域内） アルネイ	インドネシア	マレイシア	フィリピン	シンガポール	タイ	カンボディア	ラオス	ヴィエトナム	中国	ミャンマー	韓国	モンゴル	バングラデシュ	ブータン	インド	モルディヴ	ネパール	パキスタン	スリ・ランカ	香港	割当国（域外） フィジー	キリバス	ナウル	PNG	ソロモン諸島	トンガ	トゥヴァル	ヴァヌアツ	西サモア	クック諸島	ニウエ	イラン	セイシェル	モーリシャス
インドネシア	3 (13)	農業排水技術（農業排水技術施工技術センター）Irrigation and Drainage Engineering	14	6	20	97/11/03 97/12/04 30 85-99		●	○	○		○	○	○	○	○				○	○	○		○	○	○					○										
	3 (8)	農業普及方法（チヘア中央農業訓練センター）Agricultural Extension Methodology	16	4	20	97/06/24 97/08/08 40 90-99		●	○	○		○	○	○	○					○		○		○	○	○		○			○	○	○			○					
	3 (8)	病害虫発生予察（ジャチサリ病害虫発生予察センター）Pest Surveillance and Forecasting	15	5	20	97/12/** 98/01/** 40 90-99		●	○	○		○	○	○	○					○	○	○		○	○	○					○										
	5	砂防技術（砂防技術センター）Sabo Engineering (Erosion and Sediment Control Engineering)	10	5	15	97/10/** 97/11/** 35 93-97	○	●	○	○		○			○	○				○		○		○	○	○		○			○	○	○			○					
	5	建築技術者地震防災セミナー（公共事業省研究開発庁人間居住研究所）Earthquake Disaster Preventions for Building Engineers	12	4	16	97/08/** 97/09/** 30 93-97	○	●	○	○	○	○				○				○		○		○	○	○		○			○					○					
	5	家族計画におけるＩＥＣ（国家家族計画委員会）Information, Education and Communication in Family Planning	18	0	18	97/06/24 97/08/08 46 93-97			○	○			○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○					○										
	5	電子工学教育（スラバヤ電子工学ポリテクニック）Electronic Engineering Education	12	3	15	97/10/07 97/11/03 28 93-97	○	●	○	○		○		○																	○										

実施国	回数	コース名 実施機関	実施期間 （研修員	実施	合計）	研修期間 八千日数 協力年度	別表図（域内） ブルネイ	インドネシア	マレイシア	フィリピン	シンガポール	タイ	カンボディア	ラオス	ヴィエトナム	中国	ミャンマー	韓国	モンゴル	バングラデシュ	ブータン	インド	モルディヴ	ネパール	パキスタン	スリ・ランカ	香港	別表図（域外） フィジー	キリバス	ナウル	PNG	ソロモン諸島	トンガ	トゥヴァル	ヴァヌアツ	西サモア	クック諸島	ニウエ	イラン	セイシェル	モーリシャス	チリ	メキシコ
マレイシア	5	情報処理システム管理 （上級国家公務員研修所 コンピュータ訓練センター） Information System Service	16	4	20	97/10/** 97/10/** 20 93-97	○	○	●	○		○		○	○					○	○		○	○	○	○		○		○	○	○	○		○	○						
	5	プログラム論理制御 （職業訓練指導員・上級技能 訓練センター） Programmable Logic Controller	8	2	10	97/04/** 97/04/** 27 93-97		○	●	○		○	○	○	○					○			○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○						
	4	プレスプラスティック金型設計 （標準工業研究所） Mold and Die Design Technology	10	2	12	97/09/** 97/10/** 34 96-98	○	○	●	○		○	○	○	○					○	○		○	○	○	○		○			○											
	4	淡水魚養殖 （マレイシア農科大学農業水産学部） Freshwater Aquaculture	12	3	15	97/05/02 97/06/27 57 96-98	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○																
	4	セラミック解析計測化 （標準工業研究所） Analytical Instrumentation for Ceramics	8	2	10	97/10/** 97/10/** 20 96-98	○	○	●	○	○	○	○	○	○					○						○	○																
	3	医療分野バイテク技術セミナー （医学研究所） Biotechnologies/ Techniques in Tropical Medicine	8	4	12	97/07/28 97/08/23 27 95-97		○	●	○		○	○	○	○	○				○			○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○							
	2 (7)	アセアン家禽病特殊診断 （アセアン家禽病研究訓練センター） ASEAN Course in Specialized Diagnostic Techniques on Poultry Diseases	10	4	14	97/07/** 97/08/** 28 96-00		○	●	○		○	○		○																												
	2	PPP基準・適合性 （科学技術庁標準局傘下工業研究所） PPP/APEC Project on Standards and Conformity Assessment Schemes	24	3	27	97/11/** 97/11/** 96-00		○	●	○		○				○		○													○										○	○		

実施国	回数	コース名 実施機関	定員 周辺国	定員 実施国	定員 合計	研修期間 日本 日数 協力年度	割当国（域内） ブルネイ	インドネシア	マレイシア	フィリピン	シンガポール	タイ	カンボディア	ラオス	ヴィエトナム	中国	ミャンマー	韓国	モンゴル	バングラデシュ	ブータン	インド	モルディヴ	ネパール	パキスタン	スリ・ランカ	香港	割当国（域外） フィジー	キリバス	ナウル	PNG	ソロモン諸島	トンガ	トゥヴァル	ヴァヌアツ	西サモア	クック諸島	ニウエ	イラン	セイシェル	モーリシャス
フィリピン	4 (9)	適正技術開発（アジア適正技術団体連盟）Principles and Practices of Appropriate Technology Development	18	5	23	97/11/[illegible] 97/12/[illegible] 26 89-98		○	○	●		○			○					○		○		○	○	○															
	5	交通計画と管理（フィリピン大学交通研究センター）Transportation Development Management	18	3	21	97/11/ 97/12/ 19 93-97	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○				○						○					○										
	3	通信線路施設技術（運輸通信省電気通信局 電気通信訓練所）Telecommunication Outside Plant Engineering	15	3	18	97/10/ 97/11/ 40 93-97	○	○	○	●		○	○	○	○	○				○		○		○	○	○					○								○		
	4	沿岸水産増養殖（東南アジア漁業開発センター養殖部）Coastal Aquaculture	15	2	17	97/08/04 97/10/02 59 94-98	○	○	○	●	○	○	○		○	○	○			○		○			○	○															
	2 (7)	技術教育教材作成（コロンボ計画技術教員養成センター）Computer-Based Instructional Materials Development	13	1	14	97/11/ 97/11/ 26 96-98		○	○	●		○						○		○	○	○		○	○	○		○			○								○		
	2	中小企業の労働安全衛生改善（労働雇用省労働安全衛生センター）Improvement of Occupational Safety and Health in Small and Medium sized Enterprises	18	2	20	98/02/ 98/02/ 19 96-00		○	○	●		○			○	○				○		○			○	○															

実施国	回数	コース名 （実施機関）	定員 現地国	定員 実施国	定員 合計	研修期間 自年月日 日数 協力年度	該当国（域内） ブルネイ	インドネシア	マレイシア	フィリピン	シンガポール	タイ	カンボディア	ラオス	ヴィエトナム	中国	ミャンマー	韓国	モンゴル	パンテラヴシュ	ブータン	インド	モルディヴ	ネパール	パキスタン	スリ・ランカ	香港	該当国（域外） フィジー	キリバス	ナウル	PNG	ソロモン諸島	トンガ	トゥヴァル	ヴァヌアツ	西サモア	クック諸島	ニウエ	イラン	セイシェル	モーリシャス	パレスチナ
シンガポール	5 (10)	電力供給・送配電 （シンガポール・ポリテクニック） Electrical Supply, Transmission and Distribution	22	4	26	97/10/13 97/10/24 12 88-97	○	○	○	○	●	○			○	○			○							○		○			○											②
	4 (9)	コンピュータソフトウェア技術 （日本－シンガポールコンピューター技術学院） Computer Software Technology	22	3	25	97/10/15 97/12/03 50 89-98	○	○	○	○	●	○	○	○	○				○	○	○		○	○		○					○									○	②
	3 (8)	港湾管理 （港湾庁） Effective Management of Port Operations	16	1	17	97/10/06 97/10/31 26 90-99		○	○	○	●	○	○		○	○				○		○	○			○		○			○	○	○			○					○	②
	5	食品包装 （シンガポール・ポリテクニック） Food Packaging	18	4	22	97/10/13 97/10/24 12 93-97	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○			○	○			○			○		○			○	○							○	○	②
	4	ロジスティクスにおける製品保護技術 （工業標準研究院） Products Protection Engineering in Logistics	18	0	18	98/01/19 98/01/31 13 94-98		○	○	○		○	○	○	○	○				○		○		○		○					○	○									○	
	3	交番システム（警察庁） KOBAN System of Japan and its adaptation as Neighbouring Police Post (NPP) System in Singapore	20	3	23	97/09/22 97/10/08 17 95-99	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○			○	○		○	○	○		○		○			○									○	②
	3	高度情報管理技術（インテリジェント技術） Intelligent Systems for Management Information System (MIS) Managers	22	0	22	97/07/07 97/07/31 25 95-99		○	○	○		○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○		○			○									○	②
	3	メカトロニクス （ナンヤンポリテクニック） Mechatronic Systems Technology	20	0	20	97/08/25 97/09/12 19 95-99		○	○	○		○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○		○			○									○	
	2	上級経営診断Ⅱ （国家生産性機構化庁） Advanced Management Consultancy II	18	0	18	97/11/10 97/12/06 27 96-99		○	○	○		○	○	○	○					○				○		○		○														②
	2	環境管理 （環境研修センター） Environmental Management	22	0	22	97/11/17 97/11/28 12 96-99		○	○	○		○	○	○	○	○				○		○		○	○	○		○													○	②

実施国	回数	コース名（実施機関）	定員 周辺国	定員 実施国	定員 合計	研修期間 自 至 日数 協力年度
タイ	4 (14)	皮膚病学 （国立皮膚病学研究所） Diploma Course in Dermatology	14	7	21	97/05/06 98/02/28 299 93-98
	5 (10)	プライマリーヘルスケア （マヒドン大学アセアン保健研究所） Master's Degree Programme in Primary Health Care Management	12	4	16	97/08/29 98/07/15 321 87-97
	5	上級電気通信技術 （モンクット王工科大学ラバカン校） Advanced Telecommunications Technology	22	5	27	98/01/15 98/02/28 45 93-97
	4	土壌管理技術 （東北タイ農業開発研究センター） Soil Management Techniques	16	4	20	98/01/** 98/03/** 90 94-98
	3	農村生活向上における女性の役割 （カセサート大学農業普及研修センター） Enhancing Women's Role in Rural Development	17	3	20	97/10/20 97/11/28 40 95-99
	3	熱帯における持続的農業生産［インドシナ3国対象］ （カセサート大学農業普及研修センター） Sustainable Agricultural Production in the Tropics for Cambodia, Laos and Viet Nam	18	2	20	98/01/12 98/02/10 30 95-99
	2	持続的高地農業開発 （チェンマイ大学農学部） Training for Sustainable Highland Agriculture Development	18	2	20	98/01/13 98/03/15 62 96-00
	3	持続的灌漑システム管理 （農業協同組合省王室灌漑局灌漑技術センター） Irrigation System Management for Sustainable Development	22	3	25	97/10/27 97/11/21 26 95-00
	2	ＰＰＰ工業所有権 （商務省知的財産局） PPP/APEC Project on Management Property Rights	24	3	27	97/11/05 97/12/04 30 96-00
	2	ＰＰＰ競争政策 （商務省） PPP/APEC Project on Competition Policy	24	3	27	96-00
	5	災害防止 （アジア工科大学アジア災害防止センター） Disaster Prevention and Mitigation	21	4	25	97/04/ 97/05/ 30 92-96

コース名	対象国（域内）ブルネイ	インドネシア	マレイシア	フィリピン	シンガポール	タイ	カンボディア	ラオス	ヴィエトナム	中国	ミャンマー	韓国	モンゴル	バングラデシュ	ブータン	インド	モルディヴ	ネパール	パキスタン	スリ・ランカ	香港	対象国（域外）フィジー	キリバス	ナウル	ＰＮＧ	ソロモン諸島	トンガ	トゥヴァル	ヴァヌアツ	西サモア	クック諸島	ニウエ	イラン	セイシェル	モーリシャス	チリ	メキシコ								
皮膚病学		○	○	○	○	●	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○		○			○																			
プライマリーヘルスケア	○	○	○	○	○	●	○	○	○					○	○	○		○	○						○																			
上級電気通信技術	○	○	○	○		●	○	○	○	○		○		○	○		○	○	○	○		○			○	○			○	○			○		○									
土壌管理技術						●	○	○	○	○				○				○	○	○																								
農村生活向上における女性の役割		○	○	○		●	○	○	○	○				○				○	○	○																								
熱帯における持続的農業生産						●	○	○	○																																			
持続的高地農業開発						●	○	○	○	○					○			○																										
持続的灌漑システム管理		○	○	○		●	○	○	○	○				○	○		○	○	○	○																								
ＰＰＰ工業所有権		○	○	○		●				○		○													○											○	○							
ＰＰＰ競争政策		○	○	○		●				○		○													○											○	○							
災害防止	○	○	○	○		●		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○					○								○											

＊第５回目の実施が９７年度に継続となった

実施国	回数	コース名（実施機関）	定員			研修期間 自年日数 協力年度	割当国（域内）																				割当国（域外）																													
			割当国	実施国	合計		ブルネイ	インドネシア	マレイシア	フィリピン	シンガポール	タイ	カンボディア	ラオス	ヴィエトナム	中国	ミャンマー	韓国	モンゴル	バングラデシュ	アータン	インド	モルディヴ	ネパール	パキスタン	スリ・ランカ	香港	フィジー	PNO	西サモア	クック諸島	イラン	ジョルダン	クウェイト	カタル	シリア	トルコ	イエメン	アルジェリア	エジプト	モロッコ	スーダン	チュニジア	エティオピア	ガーナ	ケニア	タンザニア	ウガンダ	ザンビア	ジンバブエ	中央アフリカ	モーリシャス	アゼルバイジャン	トルクメニスタン
パキスタン	3 (11)	民間航空輸送における最新マネジメント（パキスタン航空訓練センター） Advance Management in Civil Air Transport	18	4	22	97/11/** 97/12/** 21 87-99		○	○										○	○			○	○	●	○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○			○		○	○	○	
	3	建設機械の操作とメインテナンス（建設機械訓練センター） International Training Course on Operation and Maintenance of Construction Machinery	20	0	20	97/10/** 97/**/** 29 95-99		○	○	○										○	○			○	●	○						○	○					○			○			○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スリ・ランカ	3 (10)	テレビ放送技術（国営ルパバヒムTV放送局） Colour Television Engineering	12	3	15	97/07/07 97/08/24 49 88-97		○				○		○	○		○			○	○	○	○	○	○	●		○	○	○																										
	5	情報処理技術（コロンボ大学コンピュータセンター） Information Technology —Structured Systems Analysis and Design	12	8	20	97/10/14 97/12/06 54 93-97		○												○	○	○	○	○	○	●		○	○																											

[大洋州地域]

実施国	回数	コース名 (実施機関)	定員			研修期間 自 年 月数 協力年度	割当国（域内）														割当国（域外）
			周辺国	実施国	合計		フィジー	キリバス	マーシャル諸島	ミクロネシア	ナウル	PNG	ソロモン諸島	トンガ	トゥヴァル	ヴァヌアツ	西サモア	クック諸島	ニウエ	パラオ	モルディヴ
フィジー	5 (15)	電気通信 (電気通信訓練センター) Telecommunication	14	6	20	97/08/25 97/10/24 61 83-97	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PNG	4 (14)	沿岸漁業開発 (パプアニューギニア大学) Coastal Fisheries Development	10	6	16	97/11/10 97/12/05 26 84-98	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	

［中南米地域］

実施国	回数	コース名（実施機関）	定員 国連実施	定員 実施国	定員 合計	研修期間 日平日数 協力年度	割当国（域内） アンティグア	バハマ	バルバドス	ベリーズ	コスタ・リカ	キューバ	ドミニカ	ドミニカ共和国	エル・サルヴァドル	グレナダ	グァテマラ	ハイティ	ホンデュラス	ジャマイカ	メキシコ	ニカラグァ	パナマ	セント・クリストファー・ネイヴィース	セント・ルシア	セント・ヴィンセント・グレナディーン	トリニダッド・トバゴ	アルゼンチン	ボリヴィア	ブラジル	チリ	コロンビア	エクアドル	ヴィアナ	パラグァイ	ペルー	スリナム	ウルグァイ	ヴェネズエラ	割当国（域外）
コスタ・リカ	5 (10)	麻薬犯罪防止（国連ラテンアメリカ犯罪防止研究所） Effective Countermeasures against Drug Offenses and Advancement of Criminal Justice Administration	20	2	22	97/07/28 97/08/23 27 88-97		○	○	○	●	○		○	○		○		○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	
	5	感染症・伝染病対策高度研究（コスタ・リカ大学） Basic Research for Control of Infectious Communicable Diseases	9	3	12	97/06/16 97/11/28 166 93-97					●			○	○		○		○		○		○								○	○	○			○			○	
メキシコ	5 (10)	港湾水理（港湾庁港湾建設局港湾水理センター） Port Hydraulics Engineering	14	2	16	97/10/07 97/11/28 53 88-97					○	○		○	○		○		○		●	○	○								○	○	○			○			○	
	2	電子制御技術（日墨技術教育センター） International Training Course on Electronics Control for Teachers	11	3	14	97/07/21 97/08/28 39 96-00				○	○	○		○	○		○	○	○	○	●	○	○		○							○	○			○			○	
	2	海運経営講座（ベラクルス商船大学） International Training Course on Shipping and Port Management	16	3	19	98/10/06 98/11/14 40 96-00				○	○	○			○		○	○	○	○	●	○	○					○	○		○		○			○		○	○	
アルゼンチン	7	国際漁業セミナー（国立漁業学校） International Seminar on Fisheries	16	2	18	97/08/11 97/08/29 19 91-00															○							●		○	○	○	○			○		○	○	
	5	鉄道電化（国鉄中央研修センター） Railways Electrification for Latin-American Countries	12	2	14	97/09/08 97/10/24 47 93-97					○	○									○							●		○	○					○			○	
	2	家畜疾病の診断と研究（国立ラプラタ大学獣医学部） International Training Course on Diagnosis and Research on Domestic Animal Disease	12	3	15	97/09/01 97/10/12 42 96-00															○	○						●	○	○	○		○		○			○		

実施国	期数	コース名 / 実施機関(s)	応募 国内	応募 実施国	応募 合計	研修期間 / 日数 / 協力年度	別当国（地域） アンティグア	バハマ	バルバドス	ベリーズ	コスタ・リカ	キューバ	ドミニカ	ドミニカ共和国	エル・サルヴァドル	グレナダ	グアテマラ	ハイチ	ホンジュラス	ジャマイカ	メキシコ	ニカラグア	パナマ	クリストファー・ネイヴィース	セント・ルシア	セント・ヴィンセント・グレナディーン	トリニダード・トバゴ	アルゼンティン	ボリヴィア	ブラジル	チリ	コロンビア	エクアドル	ガイアナ	パラグアイ	ペルー	スリナム	ウルグアイ	ヴェネズエラ	別当国（地域外） アンゴラ	ケープ・ヴェルデ	ギニア・ビサオ	モザンビーク	サントメ・プリンシペ							
ブラジル	3 (10)	ワクチン品質管理（サズワルド・クルス財団） Quality Control of the Measles Vaccine	9	1	10	96/03/18 96/04/17 92 96-97																							○	●			○		○			○														
	3 (8)	流域流出管理（サンパウロ州流出局） Forest Watershed Management	11	4	15	97/08/21 97/09/25 36 96-99																						○	○	●	○	○	○		○	○		○	○		○		○										
	4	老人病学（サンパウロ大学） Geriatrics	20	0	20	97/07/01 97/08/30 61 96-98					○			○									○					○	○		○	○	○		○	○		○	○														
	4	発電・送電保護システム（サンパウロ州電力公社） Protective Relaying for Electric Power Generation and Transmission System	12	3	15	97/08/30 97/10/28 60 96-98									○							○	○					○	○	●		○	○		○	○		○	○	○													
	4	水質汚濁コントロール（サンパウロ州環境衛生技術公社） Water Pollution Control	12	3	15	97/10/01 97/11/29 60 96-98					○			○	○		○		○		○	○	○					○	○	●	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○								
	3	野菜生産（国立野菜研究センター） Vegetable Crops Production	12	3	15	97/06/02 97/07/12 41 95-99								○	○		○		○			○	○						○	●		○	○		○	○		○	○	○			○										
	2	熱帯病（ペルナンブコ連邦大学免疫病理学センター） International Training Course on Tropical Disease	13	2	15	97/08/25 97/11/10 78 96-00								○	○		○		○			○	○						○	●		○	○		○	○		○	○	○			○										

実施国	回数	コース名（実施機関）	定員 期間	定員 実施国	定員 合計	研修期間 月数 協力年度	割当国（域内） アンティグア	バハマ	バルバドス	ベリーズ	コスタ・リカ	キューバ	ドミニカ	ドミニカ共和国	エル・サルヴァドル	グレナダ	グァテマラ	ハイティ	ホンデュラス	ジャマイカ	メキシコ	ニカラグァ	パナマ	クリストファー・ネイヴィース	セント・ルシア	ヴィンセント・グレナディーン	セント・ビンセント・グレナディーン	トリニダード・トバゴ	アルゼンティン	ボリヴィア	ブラジル	チリ	コロンビア	エクアドル	ガイアナ	パラグァイ	ペルー	スリナム	ウルグァイ	ヴェネズエラ	割当国（域外）
チリ	5 (10)	貝類養殖（ハナ・ヨトリア大学海洋科学学部海産物養殖センター）Molluscan Culture	18	4	22	97/10/21 97/11/15 26 88-97					○	○		○	○		○		○		○	○	○						○		○	●	○	○			○		○	○	
	4	植物遺伝資源の管理と利用（農業牧畜研究所）Management and Utilization of Plant Genetic Resources	10	2	12	98/03/上 98/03/下 26 94-98					○	○			○		○		○		○	○							○	○	○	●	○	○		○	○		○	○	
	3	鉱物処理・冶金（鉱山省鉱山冶金研究センター）Mineral Processing and Metallurgy	12	3	15	97/07/14 97/09/10 95-99					○						○		○		○	○							○	○	○	●	○	○			○			○	
ペルー	4 (14)	水産加工（水産加工センター）Fishery Product Processing Technology	20	5	25	98/01/上 98/03/上 54 84-98					○	○		○	○		○		○		○	○	○						○	○	○	○	○	○		○	●		○	○	
	4 (9)	地震工学・防災計画（国立工科大学日本ペルー地震防災センター）Earthquake Engineering and Disaster Mitigation Planning	20	5	25	97/08/11 97/09/25 46 89-98					○	○			○		○				○								○	○	○	○	○	○			●			○	

［中近東地域］

実施国	回数	コース名（実施機関）	定員 開発途上国	定員 実施国	定員 合計	研修期間 自 至 / 月数 / 協力年度
ジョルダン	5	システムエンジニアリング（コンピュータ訓練研究センター）System Engineering	16	0	16	98/03/** 98/09/** 121 93-97
ジョルダン	4	電力訓練［パレスチナ対象］（電力国営会社電力訓練センター）Electric Power Training for Palestinians	20	0	20	97/09/** 98/01/** 103 94-98
ジョルダン	3	医療機材保守［パレスチナ対象］（王立科学院電子工学センター）Medical Equipment Maintenance Training for Palestinians	10	0	10	98/02/** 98/05/** 90 95-97
サウディアラビア	2	家庭用電気製品の安全性（サウディアラビア標準化公団）Safety Requirements for Household Appliances	17	4	21	98/03/** 98/03/** 18 96-00
トルコ	2	地下資源開発・評価（鉱物資源調査開発総局）Exploration and Evaluation of Underground Resources	21	0	21	98/02/** 98/03/** 30 96-00
エジプト	3 (13)	看護教育（保健省総合看護局）International Training Program for African Nurse Leaders	20	10	20	97/10/** 97/12/** 40 85-99
エジプト	4 (9)	溶接技術（エジプト国立中央冶金研究所）Welding Technology for Engineers	20	0	20	97/09/** 97/10/** 45 69-98
エジプト	2 (7)	地震観測（国立天文地球物理研究所）Earthquake Observation (Seismologists)	20	5	25	97/12/09 97/12/19 11 91-98
エジプト	4	精米処理技術（精米技術訓練センター）Rice Processing Technology	14	2	16	97/09/02 97/11/20 70 94-98
エジプト	4	建設機械［パレスチナ対象］（建設機械訓練センター）Construction Equipment Training for Palestinians	20	0	20	97/07/06 97/10/02 90 94-98
エジプト	2	感染症対策（スエズ運河大学医学部）Clinical Immunology of Infectious Disease and an Introduction to Molecular Biology	12	3	15	97/11/16 97/12/18 33 96-98

参加国（中近東）

コース名	バハレーン	イラン	ジョルダン	クウェイト	レバノン	オマーン	カタル	サウディ・アラビア	シリア	トルコ	アラブ首長国連邦	イエメン	アルジェリア	エジプト	モロッコ	スーダン	チュニジア	パレスチナ
システムエンジニアリング	○				○	○		○	○			○	○	○	○		○	
電力訓練																		○
医療機材保守																		○
家庭用電気製品の安全性	○		○		○	○		●	○			○	○	○	○		○	○
地下資源開発・評価																		
看護教育														●			○	
溶接技術																		
地震観測													○	●	○		○	
精米処理技術														●	○			
建設機械																		○
感染症対策														●				

参加国（アフリカ）

コース名	ボツワナ	エティオピア	エリトリア	ガンビア	ガーナ	ケニア	マラウイ	ナミビア	ナイジェリア	セイシェル	南アフリカ	スワジランド	タンザニア	ウガンダ	ザンビア	ジンバブエ
システムエンジニアリング																
電力訓練																
医療機材保守																
家庭用電気製品の安全性																
地下資源開発・評価																
看護教育		○		○		○	○			○	○	○	○	○	○	○
溶接技術		○	○		○	○	○	○			○		○	○	○	○
地震観測	○	○	○		○	○	○	○				○	○	○	○	○
精米処理技術					○	○	○						○		○	
建設機械																
感染症対策	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○

コース名	アンゴラ	ブルキナ・ファソ	ブルンディ	カメルーン	チャード	コモロ	コンゴー	コートジボアール	ジブティ	ガボン	ギニア	ギニア・ビサオ	マダガスカル	マリ	モーリタニア	モザンビーク	ニジェール	ルワンダ	サントメ・プリンシペ	セネガル	シエラ・レオーネ	トーゴー	ザイール
システムエンジニアリング															○								
電力訓練																							
医療機材保守																							
家庭用電気製品の安全性																							
地下資源開発・評価																							
看護教育	○		○	○			○				○		○		○					○	○		
溶接技術				○					○		○									○	○		
地震観測				○	○								○			○				○			○
精米処理技術								○					○	○	○					○			
建設機械																							
感染症対策													○			○	○			○			

コース名	ボスニア・ヘルツェゴヴィナ	アゼルバイジャン	カザフスタン	キルギス	タジキスタン	トルクメニスタン	ウズベキスタン
システムエンジニアリング							
電力訓練							
医療機材保守							
家庭用電気製品の安全性							
地下資源開発・評価	○	○	○	○	○	○	○
看護教育							
溶接技術							
地震観測							
精米処理技術							
建設機械							
感染症対策							

〔アフリカ地域〕

実施国	回数	コース名 実施機関	定員 研修員	定員 実施国	定員 合計	研修期間 月＋日数 協力年度	番号図 スーダン	ガンビア	ボツワナ	ボツワナ・ビア	ボツワナ・リア	ガンビア	ガーナ	ケニア	レソト	リベリア	マラウィ	ナミビア	ナイジェリア	セイシェル	リマリア	南アフリカ	スワジランド	タンザニア	ウガンダ	ザンビア	ジンバブエ	アンゴラ	ベナン	ブルキナ・ファソ	ブルンディ	カメルーン	中央アフリカ	チャード	コートジボアール	ジブチ	ガボン	ギニア	マダガスカル	マリ	モーリシャス	モザンビーク	ニジェール	ルワンダ	セネガル	シエラ・レオーネ	トーゴ	ザイール					
ガーナ	2	黄熱・ポリオ感染実験研究所技術 （ガーナ大学医学部付属野口記念医学研究所） Laboratory Diagnosis of Yellow Fever and other EPIC Viral Diseases	10	2	12	98/02/24 98/03/14 35 96-98				○	○		●	○		○								○	○							○														○	○							
ケニア	3	応用電気電子工学技術 （ジョモケニヤッタ農工大学） Applied Electrical and Electronic Engineering Technology	15	2	15	98/02/10 98/03/11 30 93-97			○					●	○		○	○		○			○	○	○	○	○																											
	3	社会林業推進 （ケニア林業研究所） Promotion of Social Forestry in Africa	20	2	22	97/10** 97/12** 95-99			○	○				●	○		○	○				○	○	○	○	○	○	○													○												
	2	水質汚濁とその分析技術 （ジョモケニヤッタ農工大学） Water Pollution and its Analysis	13	2	15	98/02/03 98/03/14 40 96-00			○	○	○				○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○				○									○	○		○											
ボツワナ	4 (14)	内視鏡 （トレッシュビル大学病院） Endoscopy of Gastroenterology	9	5	14	98/01/** 98/03/** 80 84-98																							○	○	○	○	○	●		○	○	○	○					○		○							

1997年度第三国集団研修新規／延長予定案件一覧表

１９９７年度　第三国集団研修　新規／延長　予定案件

	国名	新規/延長	案件名	実施機関
1	フィリピン	新規	ＨＩＶ感染及び日和見感染症の診断技術	熱帯医学研究所
2	インドネシア	延長	動物医薬品品質管理	畜産総局動物医薬品品質管理
3		延長	上級住宅計画総合技術	研究開発庁人間居住研究所
4		(新規)	ワクチン品質管理	Bio Farma生物製剤公社
5		新規	アジア・アフリカ型広域コース	
6		新規	開発途上国における番組制作	ラジオ・テレビ訓練センター
7	マレイシア	(新規)	都市衛生・環境管理	国家公務員研修所
8		新規	女性小規模起業家育成研修	マレイシア農科大学
9	タイ	延長	麻薬撲滅および犯罪取締	麻薬取締委員会事務局
10		延長	水道供給	水道技術訓練センター
11		新規	重要家畜伝染性疾病の診断技術と防疫技術	国立家畜衛生研究所口蹄疫ﾜｸﾁﾝ製造・診断ｾﾝﾀｰ
12		新規	造林普及	王室林野局
13	シンガポール	新規	観光産業従事者用の訓練コース開発セミナー	タマセック・ポリテクニク
14		新規	空港情報サービス	民間航空庁
15		新規	アジア・アフリカ型広域コース	
16		新規	JSPP予備（輸出振興）	
17	メキシコ	(新規)	教育テレビ番組総合制作	教育テレビ局　教育テレビ研修センター
18		新規	国際耐震工学・地震工学研修	メキシコ国立防災センター
19	コスタリカ	新規	生産性・向上	中南米域内産業技術育成センター
20	ブラジル	(新規)	先端製造システム	全国工業関係職業訓練機関
21	チリ	新規	光ファイバー伝送システム　(PHD, SDH)	全国通信研修所　ﾃﾞｼﾞﾀﾙ通信訓練ｾﾝﾀｰ(CNCATEL)
22	ジョルダン	延長	電力訓練ＩＩ	電力国策会社電力訓練センター
23	エジプト	延長	稲作技術	エジプト国際農業研修センター
24		新規	電気通信（パレスチナ支援）	国立電気通信研究所
25	ケニア	延長	応用食品分析	ジョモケニアッタ農工大学
26	アセアン	新規	アセアン域内技術交流計画（IATEP）	アセアン域内の開発問題をテーマに実施
27	マレイシア	新規	国際障害者連盟（DPI）セミナー	
28	予備枠	新規		
29	予備枠	新規		

1997年度第三国個別研修実施計画(新規／継続案件)

１９９７年度・第三国個別研修・実施計画（新規／継続案件）

新規案件

	研修員情報					研修情報					
	プロジェクト名	専門家氏名	R／D期間						研修期間（計画）		
	相手国名	個別派遣専門家指導科目名	専門家氏名	派遣期間	研修員氏名	実施国名	実施機関名	研修科目名	到着日	帰国日	日数
1	カンボディア	難民再定住農村開発計画	藤田多佳夫	9309-9803	Mr. OUNG Sarin	タイ	農業協同組合省　東北タイ農業開発研究センター	土壌管理技術	970801		90
2	ヴィエトナム	大学における農業教育	大江礼三郎	9510-9710	Ms.NGUYEN Thu Thu Dong	フィリピン	国際稲研究所（IRRI）	遺伝子評価と応用	定期コース時期に準じる		
3	インド	ｻｲﾊﾞｲﾝｶﾞﾝｼﾞｰ医科学研究所	清水正一	9507-9707	Mr.Satya Narayan Sharma	スリランカ	医療機器保守センター	医療機材保守・管理	970401	970601	62
4	ミャンマー	中央林業開発訓練センター計画F/U	柳沢英治	9507-9707	Mr.Aung San Htun	タイ	農業協同組合省王室林野局造林研究訓練センター	住民参加型林業開発技術	TCTP時期に準じる		30
5	スリランカ	上水道開発計画	石原平八郎	9412-9712	Mr.Ranapura Hewage Ruvinis	タイ	国立水道技術訓練センター	上水道工学	97年8上		90
6	ネパール	村落振興森林保全計画	北浦真吾	9505-9705	Mr.Kishor Prasad ACHARAYA	インドネシア	砂防技術センター	砂防・治山技術の基本概念	TCTP時期に準じる		
7	ネパール	淡水魚養殖	高野信和	9610-9611	Mr.Surendra Kumar SHAH	フィリピン	中部ルソン州立大学　淡水養殖センター	淡水魚養殖	97年9中		90
8	PNG	ハイランド養殖開発計画	井田　清	9306-9706	Ms.Maggie Widu Seko	フィリピン	中部ルソン州立大学　淡水養殖センター	淡水養殖	970801	980101	150
9	ｴﾙｻﾙﾊﾞﾄﾞﾙ民主化支援				Ms. Silma Lidyce Rosales de Gomez	ペルー	国立工科大学日本ペルー地震防災センター	土質力学	971001		
10	コロンビア	傾斜地畑農業開発計画　農地保全	後藤有右	9110-9709	Mr.Edgar Heman PINILLA SOLORZANO	ブラジル	サンタ・カタリナ州農牧研究普及公社	土壌保全コース	97年9上		45
11	コロンビア	鉱山処理・排水処理計画立案	阿部幸紀	9607-9807	Mr.Jorge Ivan LONDONO ESCOBAR	チリ	鉱山冶金研究センター	製鉄冶金技術全般	980115	980330	75
12	ペルー				Mr. Rolando Huamani Peralta	ボリヴィア	ティキーナ水産開発研究センター	マス養殖			30
13	ペルー				Mr. Luis Antonio Espinoza Ramos	チリ	ノルテ大学コキンボ校海洋科学学部	貝類養殖	971001	971201	
14	シリア	工業開発アドバイザー	佐藤俊男	9404-9804	Mr.Hossam DARWESHAH	エジプト	エジプト中央冶金研修所	金属切削	FY97前半		120
15	ジョルダン	鋳造技術	藤広勝彦	9609-9808	Mr.Ibrahim Othman	エジプト	エジプト中央冶金研修所	鋳鉄鋳物工場の品質管理	970601	970901	93
16	オマーン	漁業訓練計画	船越信殺	9305-9805	Mr. Abdullah Ahmed Hamood Al-Harthy	エジプト	アラブ科学技術大学校	航海士	970901	980901	
17	マラウイ	リロングウェ空港再活性化技術協力		9402-9605	Mr. J.J.MATEMBA	ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ	シンガポール航空学院（SAA）	航空管制	960414	960611	59
18	ケニア	ｹﾆｱ社会林業訓練計画	南　達彦	9211-9711	Mr. Samuel A. OTHUON	タイ	農業協同組合省王室林野局造林研究訓練センター	住民林業	TCTP時期に準じる		30
19	ウガンダ	農業訓練（機械）	鈴木茂勝	9505-9705	Mr. Muwanga Godfrey Fredrick	エジプト	エジプト中央冶金研修所	鋳造技術	970501	971101	185
20	ﾀﾝｻﾞﾆｱ	農業機械	菅原清吉	9605-9805	Mr. Bonifasi MMASSY	フィリピン	国際稲作研究所（IRRI）	IRRI品種の特性/稲病害虫防除			60
21	ﾀﾝｻﾞﾆｱ	ﾐﾝﾎﾞｳｯﾄﾞﾗﾝﾄﾞ農業生態総合研究	角田　学	9405-9704	Mr. Kilosa Josephat Korneli	タイ	東北タイ農業開発研究センター	土壌管理	TCTP時期に準じる		
22	ザンビア	粘土コンロ製造技術	山口明彦	9508-9708	Mr. Julius Samilani Banda	ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ	工業調査開発庁セラミック調査開発研究所	耐火物/開発技術研究、開発、	定期コース時期に準じ		180
23	ルワンダ難民支援				Mr. Nyabyenda Jean Marie Viannery	エジプト	国際農業研修センター	土壌・水管理	定期コース時期に準じる		
24	ハンガリー	生産性向上	竹村憲二	9501-9912	Mr. Soos Laszlo	シンガポール	国家生産性・標準化庁（PSB）	上級経営診断II	TCTP時期に準じる		

20カ国	計画
個別派遣専門家C／P	12
その他	12
小計	24

継続案件

	研修員情報					研修情報					
	割当国	プロジェクト名 個別(単発)派遣専門家指導科目名	専門家氏名 専門家氏名	R／D期間 派遣期間	研修員氏名	実施 希望国名	実施機関名	研修科目名	研修期間（計画） 到着日	帰国日	日数
1	インドネシア	高等教育開発計画	矢追秀敏	9004-9603	Mr. Sembirina Kumpul	フィリピン	フィリピン大学交通研究センター	輸送計画	970310	970408	
2	ヴィエトナム	大学における農業教育	大江礼三郎	9510-9710	Mr.PHAM Hoang Oanh	フィリピン	国際稲研究所IRRI	稲病害虫	970310	970404	
3	ラオス	電子工学	池田　茂	9507-9707	Mr. Manokin PHILABONG	シンガポール	日本シンガポールソフトウェア技術学院	システムアナリスト	970105	970524	
4	オマーン	漁業訓練開発	鈴木直達	9305-9805	Mr. Salam Khalaf Suleiman ALSUBHI	エジプト	アラブ科学技術大学校	航海士	961007	970621	
5	シリア	工業開発アドバイザー	佐藤俊男	9604-9704	Mr. Ayman Kassem	エジプト	中央冶金研究所	溶接	970215	970510	
6	ウガンダ	職業訓練（機械科）	鈴木茂勝	9505-9705	Mr. Taliire Wakabi THOMAS	エジプト	中央冶金研究所	鋳造技術	961104	970505	
7	モーリタニア	機関整備操作	小木曽盾春	9602-9702	Mr. Mohamedou OULD TALEB	エジプト	アラブ科学技術大学校	海洋航行安全・海洋環境対策	961007	970621	
8	ケニア	ジョモ＝ケニヤッタ農工大学（学士課程）		9004-9704	Mr. Jacob Tsuma MAKANGA	タイ	アジア工科大学（AIT）	農業および食品工学	970401	970430	
9					Mr.Gikuru MWITHIGA				970401	970430	